

科目名		外国語 2							年度	2025
英語科目名		Foreign Language 2							学期	後期
学科・学年		ダンスパフォーマンス科 1年次	必／選	必	時間数	15	単位数	1	種別※	講義
担当教員		William Jackson		教員の実務経験		有	実務経験の職種		英会話講師	
【科目の目的】										
教科書「A PLUS ENGLISH」を元に、基本的な英会話を習得する。 外国語 1 を踏まえ、更に英語圏での良く使われている名称や表現を理解し、より生きた英語を学習する。 スマートフォンやSNSなど、必要不可欠な話題を取り上げることによって、英語習得が欠かせないということを認識してもらう。それにより、自ら英語に触れるチャンスを増やし、英語力を上げることを目的とする。										
【科目の概要】										
日本の音楽業界も10年前に比べ国際化が加速している。本科の学生に於いても国際的アーティストを招いた音楽フェスなどに従事する機会が多くあり、その場において英語に対する関心が深くなることは間違いないと思われる。この講義では基本的な会話力を養うべく簡単な英語を用いた対話型の授業を展開し、英語を学ぶ難しさを払しょくし、自学でも英語を学ぶ機会を自発的に得ようとする気持ちを誘発できるよう、英語の楽しさを伝えていく。常に担当する講師以外の外国人を講義に招き、初対面の外国人相手にしても英語を用いて話すことができるよう、英語での会話力を身に付けていく										
【到達目標】										
A 具体的な特徴を表現する言葉を理解し、それを正確に使いこなす。 B 買い物時の慣用句を理解することで、英語によるコミュニケーションの苦手意識をなくすこと。 C 前置詞の文法上の役割を理解し、正しく使えるようになること。 D 英語による標識や英語表示などの意味を理解し、海外でルールを順守できるようになること。 E HAVE TO とNEED TOのニュアンスをきちんと理解し、使い分けられるようになること。										
【授業の注意点】										
学生間・教員と学生のコミュニケーションを重視しキャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーに気を付けること。										
評価基準＝ルーブリック										
ルーブリック 評価	レベル5 優れている			レベル3 ふつう			レベル1 要努力			
到達目標 A	有名な地名を挙げ、その特徴を説明するのに、適切な表現が出来るネイティブの様に発音できる。			有名な地名を挙げ、その特徴を説明するのに、適切な表現が出来る			地名や特徴を説明する表現に興味がない			
到達目標 B	買い物の時の慣用句を理解し、ネイティブの様に発音できる。			買い物の時の慣用句を理解している。			慣用句を覚えようとしない			
到達目標 C	前置詞を使う表現を正しく理解しておりネイティブの様に発音できる。			前置詞を使う表現を正しく理解している。			前置詞を正しく理解していない			
到達目標 D	良く見られる標識や表示を正しく理解しており、ネイティブの様に発音できる			良く見られる標識や表示を正しく理解している			標識や表示の意味が分からない			
到達目標 E	HAVE TO とNEED TOの違いを理解しネイティブの様に使い分けることができる。			HAVE TO とNEED TOの違いを理解している			HAVE TO とNEED TOの違いを理解していない			
【教科書】										
教科書「A PLUS ENGLISH」										
【参考資料】										
可能な限りタイムリーな楽曲や話題をとりあげ、使われている英語を解説することで”より生きた英語”を学ぶ										
【成績の評価方法・評価基準】										
試験・課題	50%	試験と課題を総合的に評価する								
小テスト	10%	授業内容の理解度を確認するために実施する								
成果発表	20%	授業内容の理解度を確認するために実施する								
平常点	20%	漸進的な授業参加度、授業態度によって評価する								
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。										

